

<協働型学校目標・重点目標>

心に届くあいさつを広げよう

982-0824 仙台市太白区芦の口1番1号
Tel 022-246-0858 E-mail asibue@sendai-c.ed.jp
HP <http://www.sendai-c.ed.jp/~asibue/>

授業参観ありがとうございました

15日(月)になかよし学級と上学年(4・5・6年生)、19日(金)に下学年(1・2・3年生)の授業参観を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一家庭一人の参観者に制限しての実施にご協力いただきありがとうございました。子供たちの成長を感じていただけたのではないのでしょうか。また、現在の状況から懇談会を中止とし、各学年より子供たちの成長を記した年間活動報告をお渡ししました。ご家庭でこの一年の成長をお子さんと確かめていただければと思います。

今年度も残り1か月ほどとなりました。卒業・進級に向けてこれまでの成長を振り返るとともに、新しい学年での学習や生活に希望が持てるよう導いていきたいと思っています。



第3回学校評議員会並びに第2回学校関係者評価委員会開催

2月17日(水)に令和2年度の学校教育目標「心に届くあいさつを広げよう」について、アンケート結果をもとに学校の取組を紹介し、委員の皆様からご意見とご提案をいただきました。保護者の皆様には、後日アンケート結果とともに今回いただいたご意見を交えてお知らせします。

さて、委員の皆様には、途中授業を参観していただきました。

「参観で教室に入ったときの挨拶がよかった。また、掲示してある絵や習字を見ても先生方の指導を子供たちが吸収して成長していると感じた。」

「久しぶりの参観で学習に向かっている姿を見た。教室に入ったときに声を掛けてくれる子もいてうれしかった。コロナ禍にあっても子供たちのために工夫されている。」

委員の皆様にご子供たちの成長を感じ取っていただけたことをうれしく思います。

また、次年度の取組に向けた提案として、以下のようなお話もいただきました。

- ・ 挨拶は地域のつながりの窓口という方向性を共有し、地域にも目標を落とした前向きな取組から地域と一緒に取り組めるものにしてほしい。
- ・ 今後も(協働型学校目標として)挨拶に取り組むことは良いことと思う。朝一発目は挨拶から始まる。次年度も継続して取り組んでいけたらと思う。
- ・ 私は「子供から地域への挨拶ができていないのでは」と厳しい評価を付けた。だからこそ、町内会と子供会が交わりたいと考えている。そして、直接触れ合う機会を作っていきたい。学校・家庭・地域が共通の目標に向かって取り組めるよう今後もご協力をお願いします。

《3月の予定》

月	火	水	木	金	土	日
1 委員会活動	2	3 読み聞かせ	4 6年生を送る会 (TV放送)	5	6	7
8	9 ボランティア感謝の会	10	11 震災を忘れない会	12	13	14
15	16 卒業式予行練習	17 給食最終日	18 特タ4校時限 (5年5校時限) 5年お弁当の日 5年卒業式会場準備	19 卒業式 1～5年休業日	20 春分の日	21
22 給食なし 特タ4校時限 12:15下校	23 給食なし 特タ4校時限 12:15下校	24 給食なし 特タ4校時限 修了式	25 春休み ～4/7	26	27	28
29 離任式 PTA引き継ぎ会	30	31	※ 特タ4校時限の日は、12:15頃の下校となります。給食はありません。			

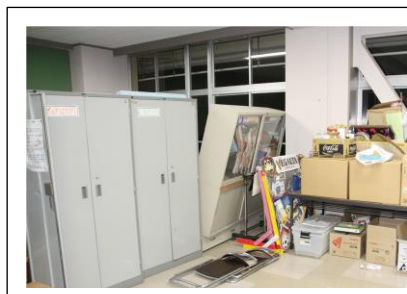
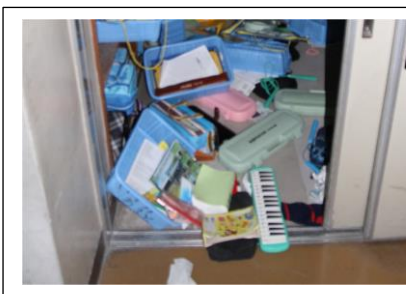
※ 9日(火) ボランティア感謝の会は、児童会(計画委員会)が中心となって企画・運営を行います。日頃お世話になっている学校ボランティアの代表の方にご来校いただき校内テレビ放送で感謝の気持ちをお伝えします。

※ 11日(木) 震災を忘れない会には、東日本大震災当時、芦口小学校校長として避難所開設・運営の指揮を執られた榊井先生を講師にお招きしてお話をうかがいます。

大きな地震がありました

2月13日(土)午後11:08に福島県沖を震源とする大きな地震がありました。大きな揺れと音に10年前の記憶がよみがえった方も多かったのではないのでしょうか。おけがや被害はありませんでしたか。15日(月)に登校した子供たちの元気な姿を見て職員一同ほっと胸をなで下ろしました。

さて、地震直後の学校はどうなっていたかという、一見被害はないように見えてましたが、教室をのぞくとロッカーから子供たちの鍵盤ハーモニカなどが崩れ落ちて散らばっていました。また、トイレのタイルが剥がれて落ちているなど、改めて揺れの大きさを実感しました。



今回の地震は家庭にいる時間帯でしたが、災害はいつ起こるか分かりません。「学校にいるとき」「登下校中」など状況が変わっても適切な行動がとれるようこれまでの学びを振り返る機会を持つことができました。

ご家庭でも子供たちと災害が起きたときの対応について、ぜひ考える時間を持っていただければと思います。